

お悩み別

# デジタルアーカイブシステムの選び方 まるわかりガイド

株式会社ニチマイ

# 本書について

近年、官公庁、自治体、図書館、博物館、大学、民間企業などの様々な組織において、歴史的な貴重資料などをデジタル化する動きが活発化しており、デジタルアーカイブへの注目が集まっています。

デジタルアーカイブとは、紙の資料や写真、映像などの資料をデジタル化し、一元管理・活用するシステムです。

資料の散逸や劣化を防ぎ、情報の検索性や共有性の向上、さらには組織の価値向上に貢献する有効な手段として、多くの組織が導入を検討しています。

しかし、いざ導入しようとした際に、「どのシステムを選べばいいのか分からない」「利用者のニーズに合ったシステムが見つからない」といった悩みをお持ちの方も少なくないのではないでしょうか？

本書では、そのような悩みを解決するために、デジタルアーカイブシステムの選び方について、具体的な選定ポイントや、よくある課題への対応策などを交えて分かりやすく解説します。

本書が、みなさまのデジタルアーカイブ導入の一助となれば幸いです。

# 目次

<b>1</b>	デジタルアーカイブが必要とされる理由	…	3
	デジタルアーカイブとは？ 必要な理由について解説	…	4
<b>2</b>	デジタルアーカイブ導入の課題	…	5
	お悩み①	…	6
	お悩み②	…	7
	お悩み③	…	8
	お悩み①～③まとめ	…	9
<b>3</b>	デジアカ サービス紹介	…	10
	ニチマイのデジアカ サービス概要	…	11
	ニチマイのデジアカ 特長	…	12
	まとめ	…	13
<b>4</b>	企業情報	…	14
<b>5</b>	お問い合わせ	…	15



# 1

## デジタルアーカイブが 必要とされる理由

# デジタルアーカイブとは？ 必要な理由について解説



## デジタルアーカイブとは

組織にとって重要な資料を、デジタル化して保存・活用するシステムのことです。紙の資料や写真、映像など、さまざまな資料をデジタルデータに変換し保存することで、効率的な管理と活用が可能になります。

## デジタルアーカイブが必要とされる理由



### 資料の利活用促進

- ✔ デジタル化により、場所や時間に縛られずに資料へアクセス可能となる
- ✔ 組織内外を問わず、必要な資料を迅速に検索・共有ができる



### 資料の適切な保存

- ✔ デジタルデータで閲覧できるため、原資料へ直接触れる機会が減り、汚損や破損、紛失のリスクが軽減する
- ✔ 貴重な資料を後世に残すための有効な手段となる



### 組織価値・企業価値の向上

- ✔ デジタルアーカイブを通じて、組織の知的財産を効果的に管理・活用すれば、組織の価値を高められる
- ✔ 公的な文化施設などから地域の情報を発信することで、地域振興や認知度向上が期待できる

これらの背景から、多くの組織がデジタルアーカイブの導入を検討しています。

# 2

## デジタルアーカイブ 導入の課題

# お悩み①

## 資料をシステムで管理したいけど不特定多数の閲覧が可能なインターネット公開はしない

デジタルアーカイブシステムを導入する目的は、資料の公開だけではありません。  
組織資料や顧客情報など、インターネット上に公開したくない資料を安全かつ効率的に管理したいというニーズも少なくありません。

**POINT >** 管理機能に優れているものを選択し、組織内で共有する場合は、アクセス権管理が高機能なものを選択することが重要

公開しない資料をシステムで管理する2つのパターン

1

特定の担当者がアクセスできる仕組みを構築したい

解決策

図面・文書管理システム『まいく郎Standard KIT V7』 

(開発元：株式会社FMシステム)

[https://www.fmsystem.co.jp/products/maikuro\\_v7/index.html](https://www.fmsystem.co.jp/products/maikuro_v7/index.html)

- 大量の情報を効果的に分類・整理し目的のファイルを探し出すのに最適なシステム
- 管理対象フォルダーを指定するだけですぐに利用が可能
- 1台でも運用可能、さらに利用者が増えた場合でも拡張可能
- 費用について [詳細はこちら](#)

2

組織内資料をデジタル化し、組織内のメンバーがいつでもどこでもアクセスできる環境を整備したい

解決策

文書管理システム『MyQuick』 

(開発元：インフォコム株式会社)

<https://www.myquick.jp/>

- SaaSサービス：月額 70,000円～
- ユーザー数が無制限
- 組織の構成にあわせた詳細なアクセス権管理が可能
- ワークフロー機能があり証跡を残すことができる

## お悩み②

### 資料をシステムで管理して不特定多数の閲覧が可能なインターネット公開をする

デジタルアーカイブの大きな目的の一つに、資料のインターネット公開があります。

資料を広く公開することで、組織の認知度向上や情報発信の強化、さらには社会貢献にも繋がる可能性があります。

また、公開範囲を設定できるシステムを選べば、機密性の高い資料は限定公開にするなど、柔軟な運用が可能です。

#### POINT >

公開範囲や連携機能、デザイン性など、自組織の目的に合ったシステムを選ぶことが重要

資料をインターネット公開をする2つのパターン

1

管理機能の充実を図り、インターネットを通じて広く資料を公開したい

#### 解決策

クラウド型収蔵品管理システム  
『I.B.MUSEUM SaaS』

 I.B.MUSEUM SaaS

(開発元：早稲田システム開発株式会社)

<https://www.waseda.co.jp/products/saas>

※組織内利用のみも可能

- SaaSサービス：月額 30,000円（総容量・件数制限なし、大容量ファイルのみ別料金）
- 画像点数が無制限なので部分写真も多数登録可能
- 単なるインターネット公開にとどまらず、ジャパンサーチ連携にも対応しているため、資料を広く公開したい場合に最適
- きめ細かい管理機能と業務支援機能

2

収集した資料や独自に発行している資料をビジュアルにインターネット公開したい

#### 解決策

電子ブックの公開ツール『ActiBook®』

 ActiBook

(開発元：クラウドサーカス株式会社)

<https://actibook.cloudcircus.jp/>

<https://actibookcs.actibookone.com/>（本棚のイメージはこちら）

※組織内利用のみも可能

- SaaSサービス：月額 20,000円～
- 独自の資料を電子ブック化して公開できる
- 紙の本のようにめくるイメージで操作ができる
- ログの分析で興味関心を把握できる

## お悩み③

### 管理機能は必要なし！不特定多数の閲覧が可能なインターネット公開だけしたい

資料の目録データや管理データ等をExcelなどで管理しており、デジタルアーカイブシステムで管理する必要がない場合でも、インターネットで公開したいケースもあります。

POINT >

資料の点数や公開方法に合わせて、最適なシステムを選ぶことが重要

管理システムの導入はせずに、資料のインターネット公開だけ行いたい

解決策

『ふみかごSearch2.0』 **ふみかごSearch**

<https://digiaka.nichimy.co.jp/service/da#fumikagosearch>

- システム構築費用：300,000円～
- 当社が作成したWebページをWebサーバーにコピーするだけ！
- ご要望に沿ったビューアに対応するようコンテンツを作成可能

- PDF
- RichFlame（複数ページ）
- Mirador、OpenSeaDragonなどを使ったビューア

- おすすめのケース

- デジタルアーカイブシステム導入に費用があまりかけられない場合
- 公開したいコンテンツが少ない場合



# お悩み①～③まとめ

お悩み	おすすめシステム	システム概要	費用
① 資料をシステムで管理したいけどインターネット公開はしない	まいく郎Standard KIT V7 	管理者のみの使用が最適なパッケージソフト	価格は <a href="#">こちらから</a>
	文書管理システム MyQuick 	組織内公開に最適なSaaSサービス	70,000円/月～
② 資料をシステムで管理してインターネット公開をする	I.B.MUSEUM SaaS 	公共機関との連携が可能なSaaSサービス	30,000円/月 <small>〔総容量・件数制限なし、大容量ファイルのみ別料金〕</small>
	ActiBook® 	独自の資料をビジュアルに公開できるSaaSサービス	20,000円/月～
③ 管理機能は必要なし！インターネット公開だけしたい	ふみかごSearch2.0 	点数が少ない資料にも最適 要望に沿った表示方法が可能	システム構築費用 300,000円～ <small>(月々の費用はかかりません。)</small>

このように、デジタルアーカイブシステムは多種多様で、どれを選べば良いか迷ってしまうかもしれません。ニチマイでは、お客様のニーズや課題を丁寧にヒアリングし、最適なシステム選定をサポートいたします。

豊富な実績とノウハウを持つニチマイだからこそ、お客様にぴったりのシステムをご提案できます。  
デジタルアーカイブ導入に関するお悩みは、ぜひニチマイにご相談ください。



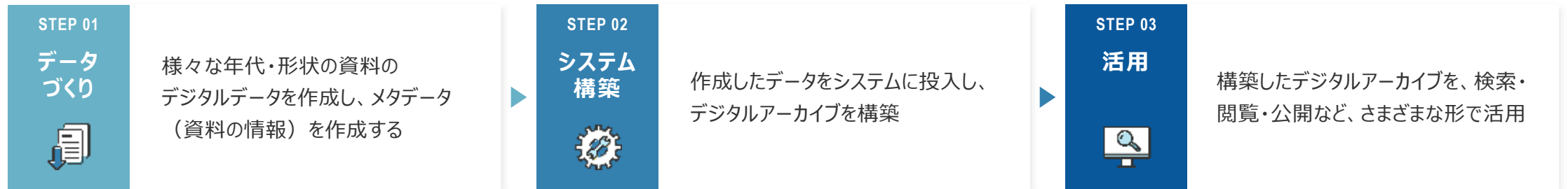
# 3

## デジアカ サービス紹介

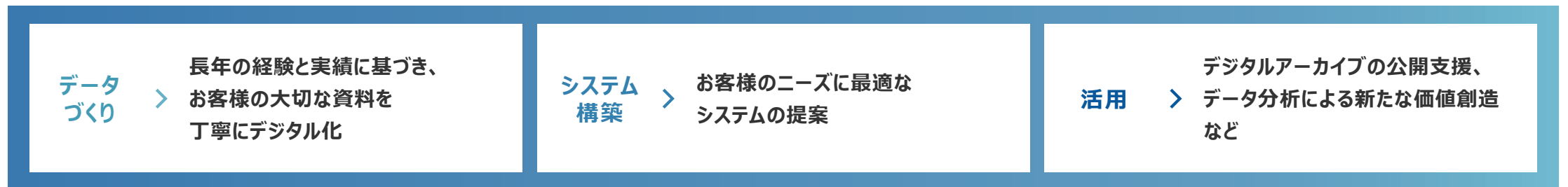
# ニチマイのデジアカ サービス概要

ニチマイは、デジタルアーカイブに関わるあらゆるサービスをワンストップで提供いたします。

デジタルアーカイブ構築は、大きく分けて以下の3つのステップで構成されます。



ニチマイは、これらのステップすべてをサポートします。



ニチマイではデータづくりにとどまらず、システムのご提案からデータの利活用に関するコンサルティング、保存対策など、デジタルアーカイブを総括的にサポートします。

# ニチマイのデジアカ 特長

ニチマイは、70年以上にわたり文書情報サービスを提供してきた実績とノウハウを活かし、お客様のデジタルアーカイブ構築をサポートいたします。  
数多くのお客様のデジタルアーカイブ構築を支援してきたニチマイだからこそできる、3つの特長をご紹介します。

## 豊富な実績



官公庁、自治体、図書館、博物館、大学、民間企業など、さまざまな分野におけるデジタルアーカイブ導入実績があります。

それぞれの分野における課題やニーズを深く理解し、最適なソリューションを提供してきました。

※画面上の資料出展  
・下河辺半五郎立案、金港堂書籍会社『教育勅語双六』  
・一鉢舎分身作、光斎芳盛画、古賀屋勝五郎『擬文字道中双六』  
上記2点は、東京学芸大学附属図書館所蔵  
・ブラックジャックによるしく 佐藤秀峰

## 豊富なノウハウ



創業以来、70年以上にわたり文書情報に携わってきたニチマイは、デジタルアーカイブ構築に必要なノウハウを豊富に蓄積しています。

資料のデジタル化からシステム構築、運用、さらに活用まで、あらゆるフェーズにおいて、専門的な知識と技術でお客様をサポートいたします。

## 公平・中立な立場からのご提案



ニチマイは、特定のデジタルアーカイブシステムに縛られることなく、お客様にとって最適なシステムを選定できます。それはニチマイが、システムの開発や販売を主力事業とする会社ではないためです。

自社の都合で特定のシステムを推奨することなく、公平・中立な立場から、お客様のニーズに最適なシステムのご提案が可能です。

# まとめ

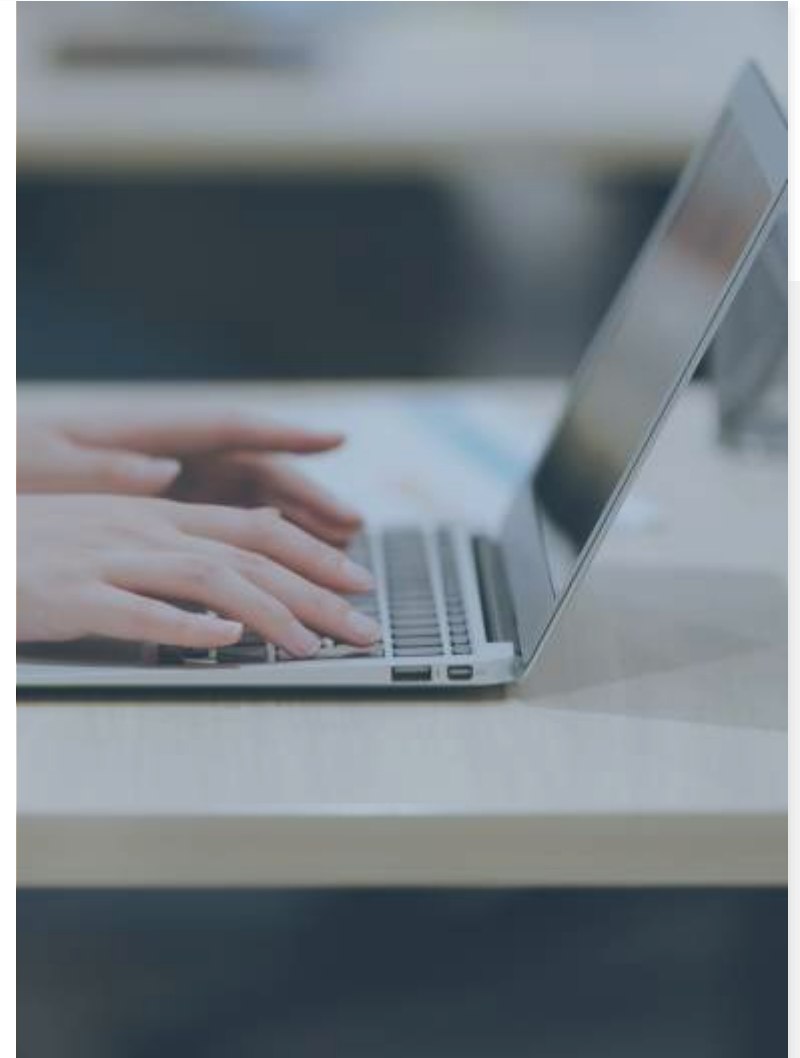
デジタルアーカイブシステムは、資料の保存・活用、組織の価値向上に貢献する、現代社会において非常に重要なシステムです。

しかし、いざ導入しようとした際に、  
「どのシステムを選べばいいのか分からない」「費用はどれくらいかかるのか」  
「利用者のニーズに合ったシステムが見つからない」  
など、さまざまな悩みが出てくるかと思います。

本書では、そのような悩みを解決するために、デジタルアーカイブシステムの選び方について、具体的なお悩みと解決策を交えながら解説しました。

**ニチマイは、お客様に寄り添いながら最適なデジタルアーカイブサービスをご提案いたします。  
豊富な実績とノウハウを持つニチマイだからこそ、お客様の課題を解決し、  
最適なシステム選定をサポートできます。**

**デジタルアーカイブ導入に関するお悩みは、ぜひニチマイにご相談ください。**





## 企業情報

会社名	 株式会社ニチマイ (旧社名：日本マイクロ写真株式会社) (英語名：Nichimy Corporation)
代表者名	廣岡 潤
事業内容	デジタルアーカイブサービス、マイクロフィルム関連サービス、 資料保存関連機材など製品の企画開発、文書管理コンサルティング、 米国事務所を拠点とした海外資料調査および資料収集代行など
創立年月日	1950年6月1日
設立年月日	1951年2月1日
本社所在地	〒134-0083 東京都江戸川区中葛西4-19-14 TEL：03-6808-3170（代） FAX：03-5659-1150
米国事務所	9658 Baltimore Avenue, Suite 300, College Park, MD 20740 TEL：301-531-4677
所属団体	公益社団法人日本文書情報マネジメント協会 日本イメージ情報業連合会 関東イメージ情報業連合会 東京商工会議所 一般社団法人日本経営協会



## お問い合わせ

ご不明な点やご質問・ご相談がございましたら  
お気軽にご連絡ください。



**お問い合わせはこちら**

<https://digiaka.nichimy.co.jp/contact>



**資料ダウンロードはこちら**

<https://digiaka.nichimy.co.jp/downloadlist>



**お電話はこちら**（営業時間：平日10:00～17:00）

0120-588349